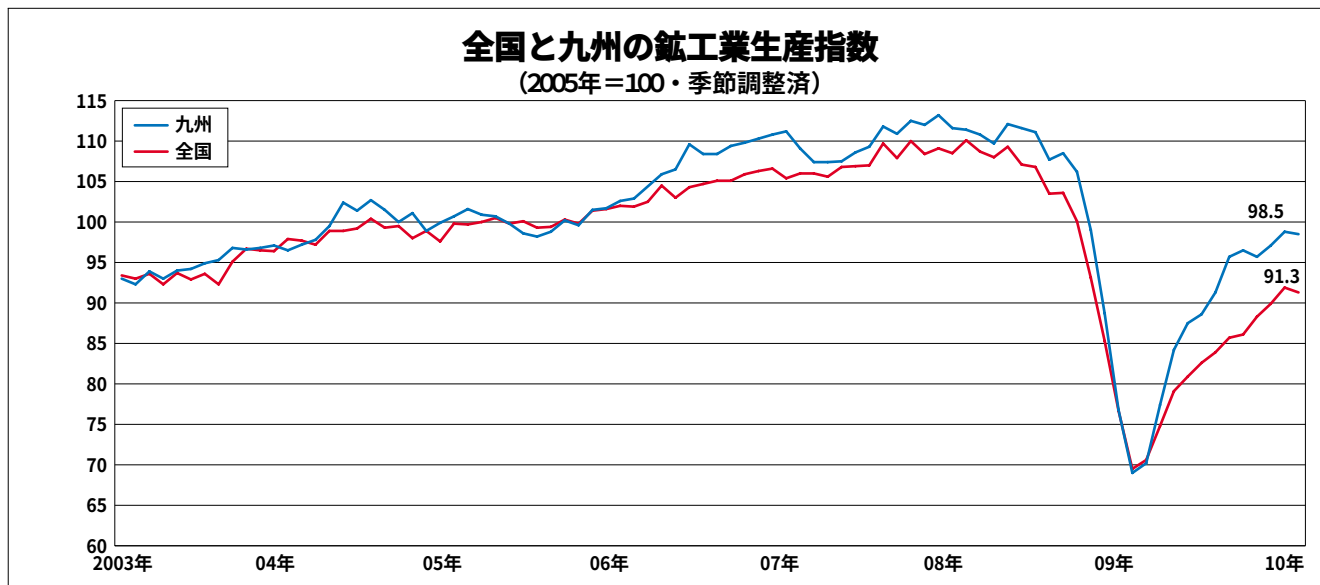


九州の鉱工業生産動向

[基調判断] ……………持ち直しの動きが続いている

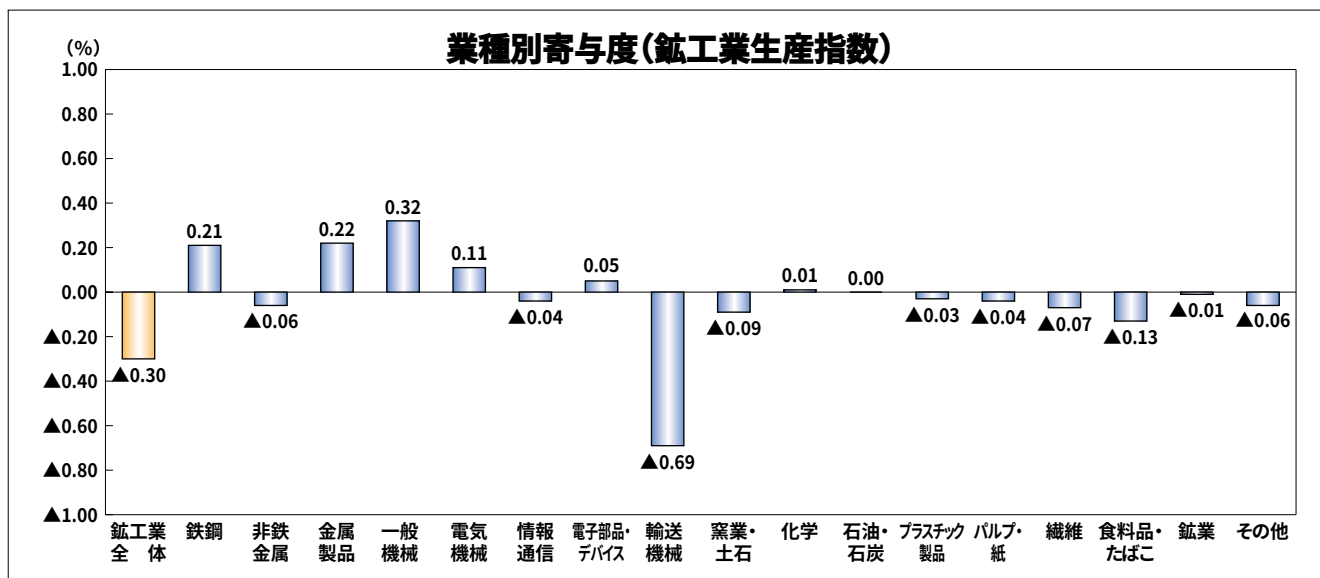
2010年2月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、一般機械や金属製品、鉄鋼業などの生産が好調な一方、エコカー減税効果の反動が大きい輸送機械や、食料品・たばこなどの生産が伸び悩んだことから、前月比0.3%低下の98.5と3ヵ月ぶりに前月実績を下回りました。しかしながら、乗用車の生産は高水準で推移しており、生産活動全体は引き続き堅調で、持ち直しの動きは持続しています。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向] ……………輸送機械はエコカー減税効果の反動減で前月比マイナス

鉱工業生産指数の前月比0.3%低下について、業種別の寄与度を見ると、一般機械のほか公共工事案件で橋梁や水門などの需要が好調だった金属製品などがプラスに寄与しました。一方、輸送機械は、エコカー減税効果などで好調だった前月の反動の影響が大きく、マイナスの寄与度が最大となっています。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

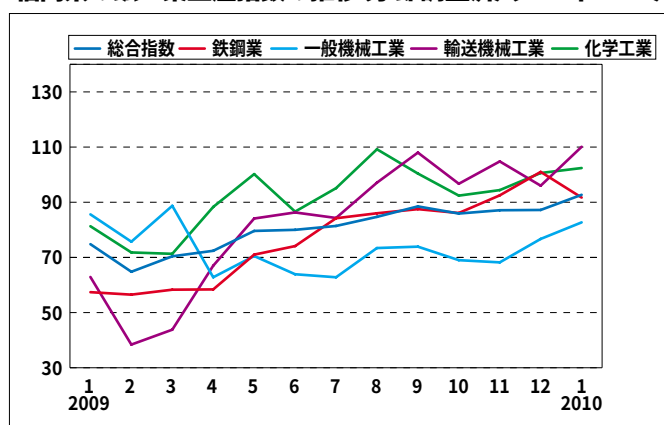
[福岡県の景気]……………持ち直しの動きが続いている

生産活動では、エコカー減税による乗用車需要の増加などから輸送機械が上昇、一般機械など他の産業も軒並み上昇するなど、着実に持ち直しの動きが見られています。

消費面では、消費者の節約志向は依然強く、大型小売店販売額は前年割れで推移しています。住宅建設については、マンション着工は減少したものの、住宅取得に係る優遇制度や住宅版エコポイントの効果から、持家を取得する動きについては引き続き堅調です。公共工事についても件数・金額ともに増加するなど、総じて堅調に推移しています。

[生産活動]……………総合指数は3ヵ月連続上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



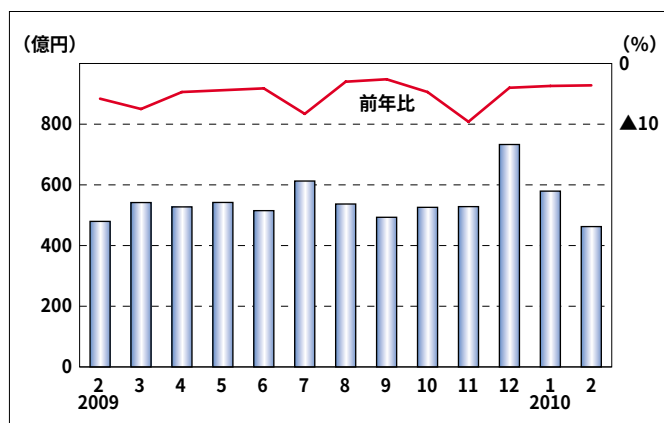
(出所)福岡県

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.7となり前月比6.3%上昇しました。

主要業種をみると、エコカー減税効果などから乗用車の需要が増加したことにより輸送機械が前月比で14.7%上昇したほか、薄型テレビなどのディスプレイ製造装置が好調だったため一般機械工業も前月比で上昇しました。

[大型小売店]……………前年割れが継続

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

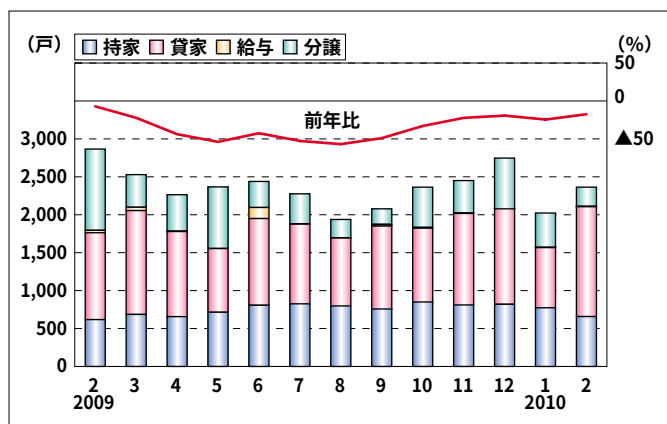
百貨店、スーパーともに消費者の節約志向は依然として強く、大型小売店全体での販売額は前年同月比3.6%減の463億円と19ヵ月連続で前年比マイナスとなりました。

内訳をみると、百貨店は、前年同月比6.9%減の197億円、スーパーについても前年同月比1.0%減の265億円となりました。

飲食料品については、節分やバレンタインなどのイベント要因もあり、4ヵ月ぶりにプラスとなっています。

[住宅建設]……………マンション着工減により前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



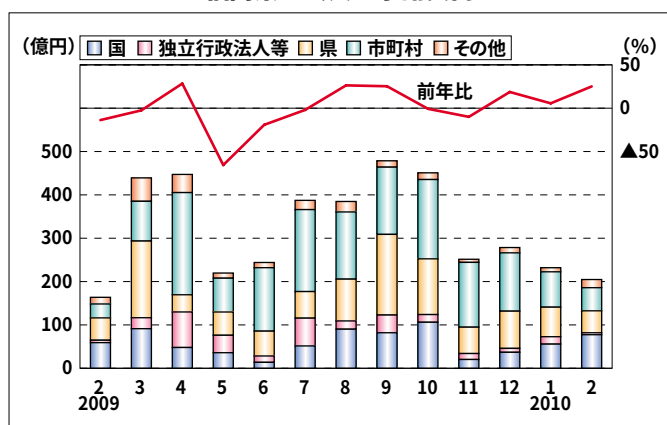
(出所)国土交通省

2月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比6.5%増の658戸、貸家で同26.5%増の1,448戸と順調に増加しましたが、分譲についてはマンション着工が大幅減少した影響が大きく、前年比76.5%減の252戸となりました。

全体でも同17.5%減の2,364戸となっていますが、住宅版エコポイントの効果などから、分譲(戸建)を含めた持家取得の動きは、引続き前年比プラスで推移しています。

[公共工事]……………請負件数・金額ともに増加

福岡県の公共工事請負高



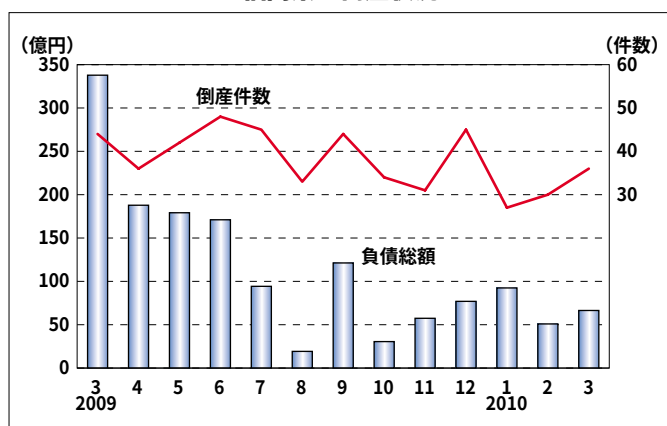
(出所)西日本建設業保証

2月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比24.4%増の490件、金額についても同25.1%増の205億円と件数・金額ともに増加しました。

発注者別でみると、「国」の道路関連や港湾整備などの大型案件に加え、「市町村」発注の小口案件も増えており、件数・金額ともに増加しています。

[企業倒産]……………倒産件数、負債総額ともに前年比減少

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

3月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比18.2%減の36件、負債総額は、大型倒産が発生した前年同月(省エネシステム開発会社や洋菓子製造会社などの破綻により338億円を計上)に比べ、80.3%減の66億円と減少しました。

前月比では、件数は増加しているものの、小口の倒産増加によるものが大きく、負債総額は低水準で推移しています。

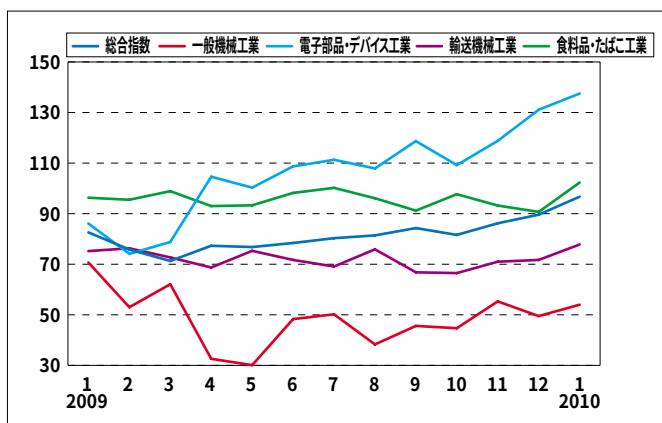
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気]……………持ち直しの動きが続いている

生産活動では、主要産業の生産が揃って増加し、総合指数は3ヵ月連続で前月上昇するなど、持ち直しの動きが続いています。大型小売店販売額は減少幅が縮小し、公共工事は昨年7月以降、請負金額が前年実績を上回って推移しています。また、企業倒産の負債総額は低水準が続いています。ただし、住宅建設については貸家と分譲が不調で前年比減少しています。

[生産活動]……………主要産業が揃って上昇し、総合指数は3ヵ月連続で上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



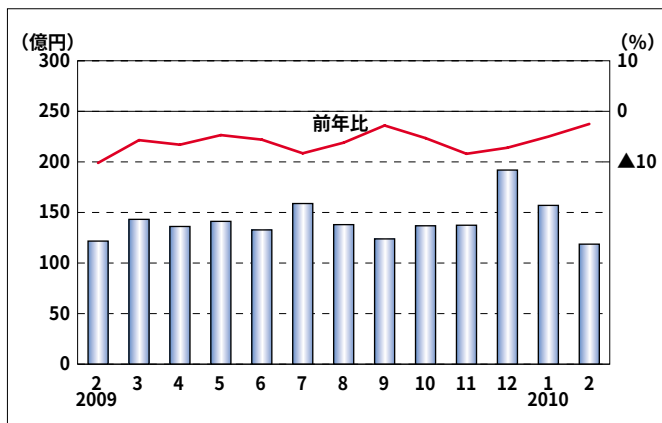
(出所) 熊本県

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.7と前月比7.9%上昇しました。

食料品・たばこや電子部品・デバイスなどをはじめ、主要産業は揃って上昇し、総合指数は3ヵ月連続で上昇しました。

[大型小売店]……………前年比マイナスながら減少幅は縮小

熊本県の大型小売店販売額



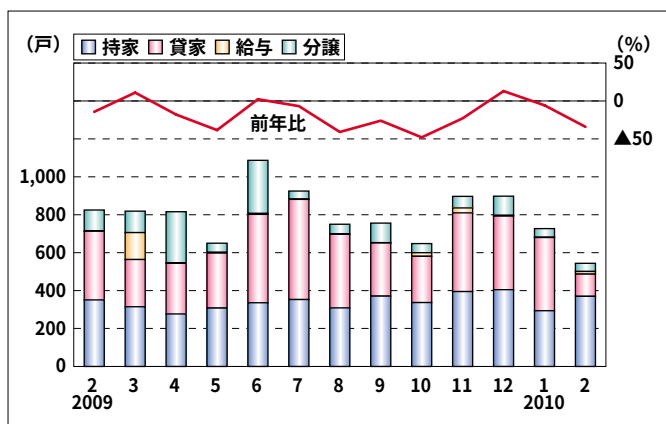
(出所) 九州経済産業局

2月の県内大型小売店販売額は、前年比3.1%減の119億円と前年実績を下回りました。消費者の節約志向は依然強いものの、3ヵ月間連続で減少幅は縮小しています。

衣料品全体では前年比8.0%減と不調でしたが、飲食物品は催事関連がプラスに寄与し、同1.7%増となりました。

[住宅建設]……………貸家、分譲が不調で前年比減少

熊本県の新設住宅着工戸数



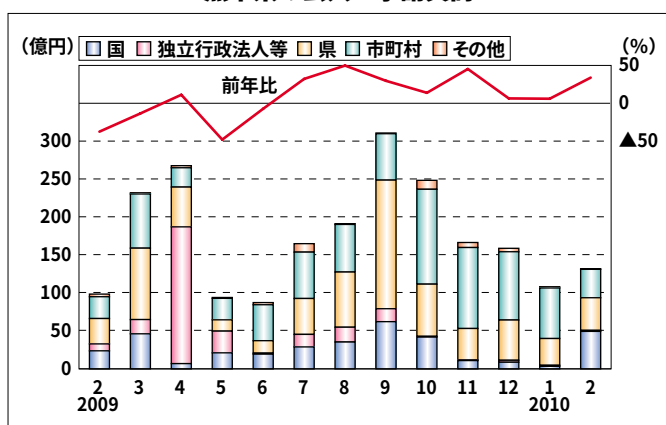
(出所)国土交通省

2月の新設住宅着工戸数は、前年比34.1%減の544戸と、2ヵ月続けて前年を下回りました。

住宅取得優遇制度の利用などにより持家は前年比5.4%増の370戸と増加しました。一方、貸家は同67.7%減の117戸、分譲はマンションの着工がなく戸建分譲のみで、同61.3%減の43戸と低調でした。

[公共工事]……………「国」「市町村」などの発注増で前年比増加

熊本県の公共工事請負高



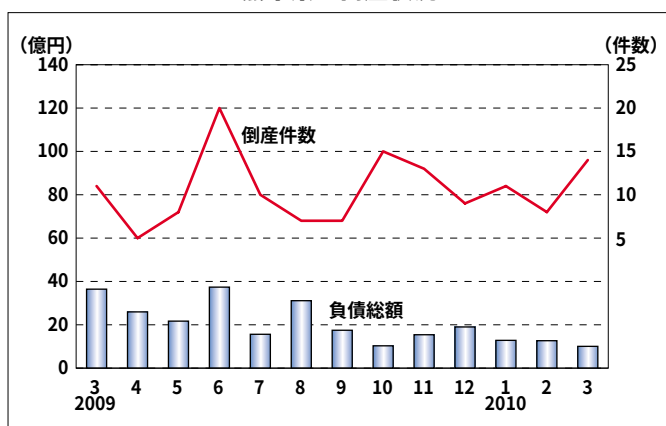
(出所)西日本建設業保証

1月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比48.3%増の485件、金額が同33.8%増の132億円と、件数、請負金額ともに前年比増加しました。

九州横断道のトンネル新設工事などで、「国」発注分が急増したほか、「県」「市町村」発注分も増加し、請負金額全体の増加に寄与しました。

[企業倒産]……………小口倒産で件数は増加するも、負債金額は過去1年間で最低

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

2月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年比27.3%増の14件、負債総額が同72.4%減の10億500万円となりました。

倒産は件数は前月比で6件増加しましたが、全て10億円以下の小口倒産で、負債総額は過去1年間で最も低い金額となりました。

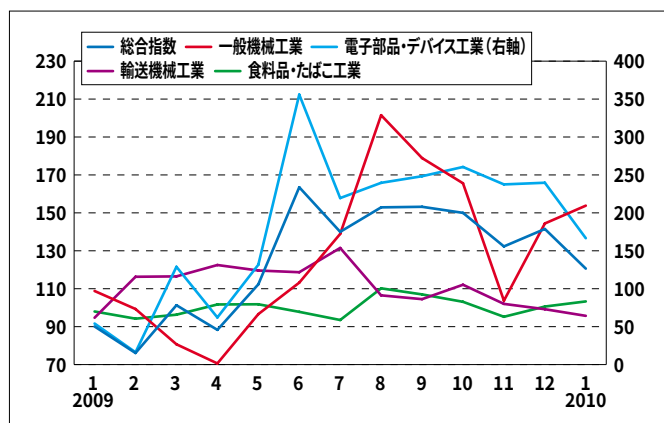
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気]……………持ち直しの動きに一服感

生産活動では、受注生産割合が高い電子部品・デバイスの生産低下を主因として総合指数も低下するなど、持ち直しの動きに一服感がみられます。公共工事は前倒し発注の反動で前年実績を下回って推移し、住宅建設も貸家、分譲が低調で前年実績を下回りました。大型小売店販売額は低調な状態が続いています。企業倒産については低水準で推移しています。

[生産活動]……………電子部品・デバイスや輸送機械の低下により、総合指数も低下

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2000年=100)



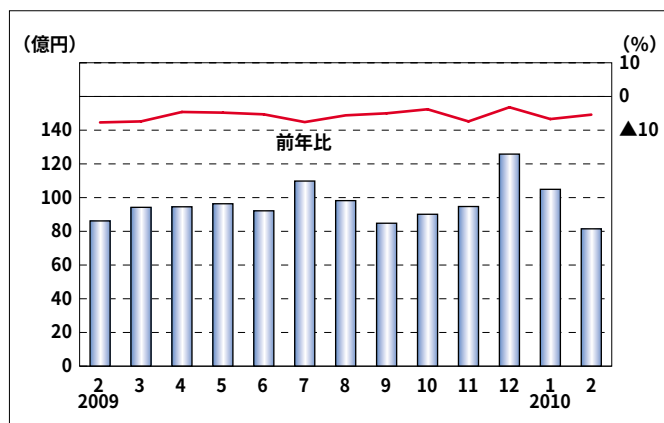
(出所)長崎県

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比14.8%低下し120.6となりました。

一般機械や食料品・たばこは上昇しましたが、受注生産割合が高い電子部品・デバイスの生産が急減するなどし、総合指数も低下しました。

[大型小売店]……………節約志向は依然強く、売上減少続く

長崎県の大型小売店販売額



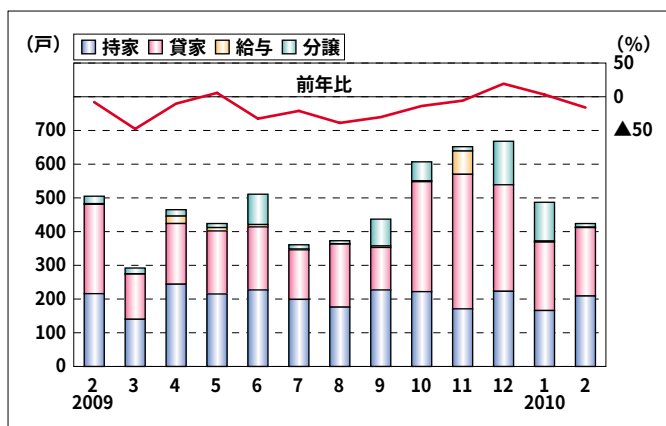
(出所)九州経済産業局

2月の県内大型小売店販売額は、節約志向に加え、販売単価の低下が続いており、前年比5.3%減の82億円となりました。

衣料品は前年比8.1%減少しましたが、春物衣料に動きが見られたため、減少率は前月より縮小しました。業態別では、百貨店は同5.3%減、スーパーは同5.3%減少しました。

[住宅建設]……………貸家、分譲が低調で前年比マイナス

長崎県の新設住宅着工戸数



(出所)国土交通省

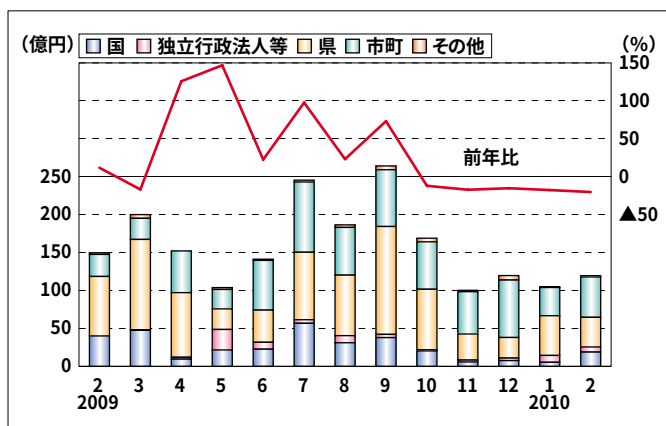
2月の新設住宅着工戸数は、前年比16.0%減の424戸と、3ヵ月ぶりに前年比減少しました。

持家で前年比3.2%減の209戸、貸家では同23.4%減の203戸、分譲は戸建分の着工のみで同50.0%減の11戸と急減しました。

進出企業向けに活発化していた貸家着工などの動きも一段落し、貸家、分譲の動きは低調で、二ケタ減のマイナスとなりました。

[公共工事]……………請負金額は5ヵ月連続して前年比減少

長崎県の公共工事請負高



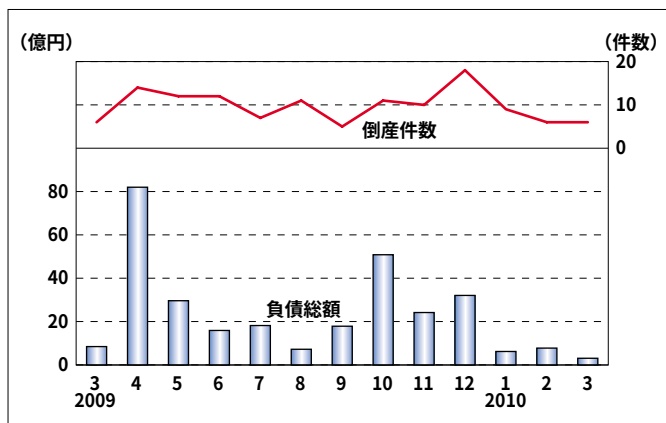
(出所)西日本建設業保証

2月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比8.0%増の404件、金額が同20.2%減の119億円と、請負金額は5ヵ月連続で前年比減少しました。

長崎大学の増改築工事の発注などで「独立行政法人」や「市町」分は前年比増加しましたが、前倒し発注の反動もあり「国」「県」などは減少しました。

[企業倒産]……………件数、負債金額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

3月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年と同数の6件、負債総額が同63.5%減の3億1,000万円となりました。

緊急融資制度の効果などにより、件数、負債金額ともに前月に引き続き非常に低い水準となりました。